

2021(令和3)年度 事業計画

1. 学会活動・運営の基盤強化

公益社団法人に相応しい社会に貢献する学術法人として、理事会が中心となって、目的とする公益事業推進のための体制を構築し、維持し、改革を進める。

- (1) 寄附金の積極的受け入れを図る。
- (2) 若手研究者の拡充を図る。
- (3) 他事業団体との協働で学術研究・啓蒙活動・人材育成を推進する。
- (4) 事業・経費を見直して運営を効率化する。

2. 各種事業計画概要

(1) 会誌、学術刊行物の編集・発行

- ・ 会誌「ビタミン」の編集、審査等を厳正に行ない、年11回発行(1月～12月を1巻)する。
- ・ 公益社団法人日本栄養・食糧学会、FANSと共同編集してJNSV(英文誌)を年6回発行する。
- ・ 「ビタミン・バイオフィクター総合事典」発刊する。
- ・ 「サプリのルール」改訂版を監修する。

(2) 年次大会、学術講演会

① 2021年度第73回大会

会 期:2021年6月19日(土)～20日(日)

会 場:芝浦工業大学 芝浦校舎

大会委員長:石神 昭人(東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長)

テ ー マ:「ビタミン学で感染症に挑む」

主要プログラム

一般演題発表	88 演題
学会賞等受賞講演	4 演題
特別講演	3 演題
基調講演	1 演題
教育講演	3 演題
シンポジウム	24 演題

《ビタミンと脳神経機能》

《エピジェネティクスから考えるビタミン・バイオフィクターの未来》

《ビタミン誘導体による人工触媒系の開発および医療応用研究の最前線》

《ビタミンを中心としたケミカルバイオロジー研究》

《企業シンポジウム》

② 2021年度市民公開講座

開 催 日:2021年12月4日(土)

会 場:シティホールプラザ アオーレ長岡(予定)

実行委員長:高橋 祥司

テ ー マ:「私たちの健康・美容とビタミン」

講 演:「尿分析でビタミンの栄養状態を評価する」

柴田克己(甲南女子大学教授)

「地域住民におけるビタミンDと病気の予防」

中村和利(新潟大学教授)

「健康や美容のマストアイテム-ビタミンC-」

石神昭人(東京都建康長寿医療センター研究部長)

(3) 地区部会活動

- ・ 研修会を計画中である。

(4) 他事業団体との協働事業

- ・ 支部活動の活性化の一環として、他の学会・支部との共催により研究発表会を開催する。
- ・ 日本栄養学学術連合との連携

(5) 国際交流活動

第 6 回補酵素国際会議 International Conference on Cofactors (ICC-06)
会 期: 2021 年未定
会 場: Texas A&M Hotel and Conference Center
177 Joe Routh Boulevard, College Station, Texas 77840, USA

(6) 学術・広報活動

- ・ ビタミン等についての有用な情報をホームページに掲載する。
各種事業の案内・募集等を、ホームページに掲載する。
- ・ ビタミン・バイオフィクターなどに関する質問に対し正確に対応する。

3. 研究の奨励及び研究業績の表彰

(1) 2021 年度表彰授与式(2021 度総会時)

学会賞 1 件、奨励賞 2 件、企画・技術・活動賞 1 件、功績者 3 名

(2) 学生優秀発表賞

年次大会において、学生会員の一般演題発表者の中で優秀な発表を行った者に対して授与する。

(3) 若手海外優秀発表賞

国際学会等で優秀な発表をした若手研究者を顕彰する。対象は、2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日に開催された国際学会等である。

(4) トピックス貢献賞

学会誌 95 巻において、会誌の充実及びビタミン学研究の進歩・発展のため貢献度の高いトピックスを投稿した研究者に対し賞を授ける。

4. 助成事業

(1) 第 6 回補酵素国際会議参加補助 (ICC-06)

以上